

## 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

**1 新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について**

別添資料No. 3 - 1 のとおり

**2 県立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について****(1) 診療・検査医療機関の設置**

- 感染症指定医療機関を中心に対応
- これまでに本県で行われた検査のうち、約3割が県立病院で検体採取
- 県環境保健研究センターに搬送するほか、院内でもPCR検査機器及び抗原迅速診断キットにより検査を実施

**(2) 医療提供体制の整備**

- 病床の確保（県内感染確認者のうち、約3割が県立病院に入院）
- 機器整備
  - ・入院機能の強化のため、簡易陰圧装置、人工呼吸器、エクモ等を整備
  - ・外来機能の強化のため、医療用テント、ポータブル一般撮影装置、HEPAフィルター付空気清浄機等を整備
- 質が高く効率的な医療の提供に向けた医療現場のデジタル化の推進  
（別添資料No. 3 - 2 のとおり）

**(3) 院内感染防止対策等の取組**

- 院内検査体制の強化  
（術前検査等のため、PCR検査機器を南光病院を除く19病院に整備）
- 出入口へのサーマルカメラ設置による来院者の検温
- 慢性疾患患者等の電話診療
- 県政番組「いわて！わんこ広報室」による、適切な医療機関の受診、県立病院の感染防止対策の広報（令和3年1月11～16日、2月1～5日放送）
- 日本医師会「みんなで安心マーク」の掲示

**(4) 感染症診療業務従事者への支援**

- 医療従事者の宿泊施設の確保
- 特殊勤務手当の拡充
- 新型コロナウイルス感染症対応慰労金の給付

**(5) 他の医療機関等への業務支援**

- 他の医療機関や地方自治体等からの要請を受けて、県内外の医療機関・宿泊療養施設へ看護師等を派遣

## (6) 県立病院の経営への影響

### ① 収支状況

- 医業収益（12月末累計） 2,724百万円減収（前年比4.1%減）

[医業収益前年度比較(月別)]

(単位:百万円)

|      | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 計      |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| R2年度 | 7,016 | 6,431 | 7,058 | 7,454 | 6,934 | 7,156 | 7,621 | 7,390 | 7,290 | 64,351 |
| R元年度 | 7,327 | 7,301 | 7,236 | 7,679 | 7,179 | 7,226 | 7,863 | 7,501 | 7,763 | 67,075 |
| 増減   | △311  | △870  | △178  | △225  | △245  | △70   | △242  | △111  | △473  | △2,724 |

- 患者数

|       | 単 月     |         |         |       | 累 計       |           |          |      |
|-------|---------|---------|---------|-------|-----------|-----------|----------|------|
|       | R2年12月  | R元年12月  | 前年度比較   |       | R2年12月末   | R元年12月末   | 前年度比較    |      |
|       |         |         | 人数      | 率     |           |           | 人数       | 率    |
| 入院患者数 | 91,694  | 102,662 | △10,968 | △10.7 | 812,020   | 892,090   | △80,070  | △9.0 |
| 外来患者数 | 139,602 | 155,610 | △16,008 | △10.3 | 1,258,142 | 1,382,878 | △124,736 | △9.0 |

[参考] R元年度における患者減少数(対前年度比) 入院 △14,611人 外来 △39,769人

### 【要因】

- ・入院体制等確保のため、入退院の制限、延期可能な手術・検査の延期
- ・かかりつけ医からの紹介患者の減少
- ・自主的な受診抑制

### ③ 今後の対応

- 新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立
- ・重症化させないための適切な受診を住民に広報
  - ・これまでの予約状況から未受診となっている患者への受診の働きかけ
  - ・県立病院間のネットワークを活用した検査・診療の実施
  - ・医療現場のデジタル化の推進
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制への参画